

# 浜中町公共交通 乗降調査結果

令和元年11月

# 1. 調査概要

## (1) 調査目的

地域公共交通網形成計画の策定に当たり、公共交通の利用状況を把握

## (2) 調査日時

調査日 令和元年9月10日(火)～9月13日(金)  
調査時間 6:00～21:00 (交通機関による)

## (3) 調査方法

調査員が利用者に対して乗降時にアンケート調査を実施

## (4) 調査項目

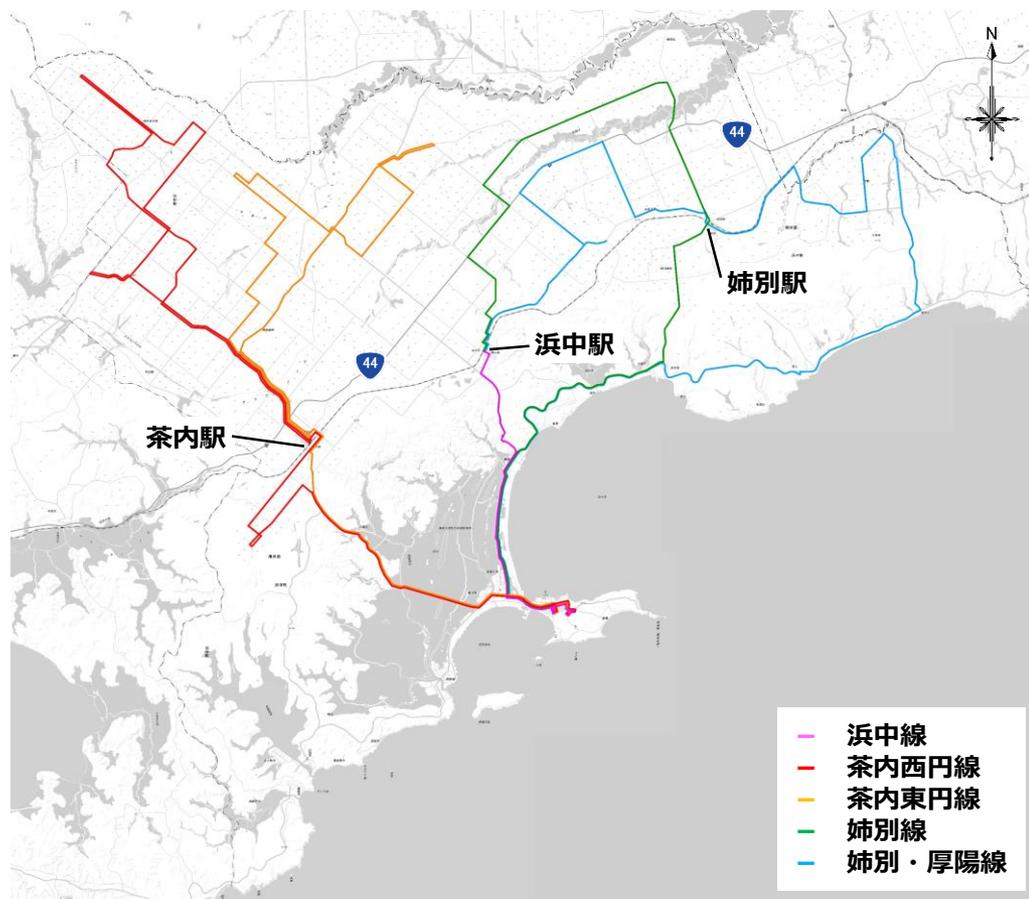
- 1) 個人属性  
性別、年齢、職業
- 2) 利用状況  
利用路線、利用便、乗降駅・バス停、利用目的、乗車前・降車後交通手段、利用頻度

## (5) 調査対象

JR北海道根室本線花咲線：茶内駅、浜中駅、姉別駅

くしろバス：浜中線

浜中町巡回バス：茶内西円線、茶内東円線、姉別線、姉別・厚陽線



# 2. 全体概要

## 2-1. 全体概要

### (1) JR北海道根室本線花咲線

- ・ 3駅全体の利用者数（42名）のうち65%が茶内駅であり、残り35%が浜中駅・姉別駅である。
- ・ 3駅全体で「ほぼ毎日」「週に数回」の利用が半数を占める。姉別駅は利用者数が少ない（5名）が全員がほぼ毎日利用している。
- ・ 3駅全体で約4割が会社員であり、パート等・高校生・大学生等と合わせると約8割になる。
- ・ 姉別駅の利用目的は通勤・通学のみであるが、茶内駅・浜中駅は通勤・通学のほか、通院やその他私用、観光などの利用がある。

### (2) くしろバス浜中線

- ・ 調査当日の利用者数は合計で4名であり、全体で7便運行している中で、5便が利用者0人であった。
- 利用があった便  
12:30浜中駅発 1名  
14:00ゆうゆ発 3名
- ・ 利用者の属性として、20代（1名）と30代（3名）の利用者が観光目的で乗車されている。（内1名は業務と観光の2つを目的としている）
- ・ 利用頻度としては、月に1回、もしくはほぼ乗らないの回答であった。

### (3) 町内巡回バス

- ・ 4路線で30名の利用があり、全員が60代以上の女性である。各路線で1日当たり4～10名の利用（実人数では最大で5名）がある。
- ・ 週に数回と週に1回の利用者が約6割、月に数回が残りの4割である。
- ・ 姉別線、姉別・厚陽線は週に数回・1回の利用頻度であり、茶内西円線、茶内東円線は月に数回の利用が約7割であり残り2割が週に1回の利用である。
- ・ 通院、買い物、私用など利用目的は各種ある。
- ・ 姉別線、姉別・厚陽線は、奔幌戸～ゆうゆ間での利用となっている。
- ・ 茶内西円線は妹尾宅前～ゆうゆ間、茶内東円線は支所～ゆうゆ間での利用がある。

# 2. 全体概要

## 2-1. JR北海道根室本線花咲線 -述べ利用者数：42人

### (1) 利用者数（調査駅別）

単位：人

駅 (乗降者数)	釧路方面行			根室方面行				合計	
	時刻	乗車	降車	乗降計	時刻	乗車	降車		乗降計
茶内駅 (27)	06:47	4		4	06:47	1		1	5
	09:38	4	1	5	09:38	1		1	6
	12:18			0	12:18		2	2	2
	14:42			0	14:42	1		1	1
	17:33	5		5	17:33	1	3	4	9
	20:21			0	20:21		4	4	4
浜中駅 (10)	06:39	3		3	06:55		1	1	4
	09:31			0	09:45			0	0
	12:05			0	12:25		1	1	1
	14:36	2		2	14:51	1	1	2	4
	17:21			0	17:42		1	1	1
	20:14			0	20:30			0	0
姉別駅 (5)	06:29	1		1	-			0	1
	09:21	1		1	09:54			0	1
	14:26			0	15:01		2	2	2
	17:10			0	17:52			0	0
	20:03			0	20:40		1	1	1
合計	-	20	1	21	-	5	16	21	42

朝夕に利用者が多い

朝昼に利用者が多い

特に利用が集中する時間がない

# 2. 全体概要

## 2-1. JR北海道根室本線花咲線

### (1) 利用者数（乗降駅別）

単位：人

#### 茶内駅利用

乗車	降車	乗降者数	乗車	降車	乗降者数
茶内駅	札幌方面	1	札幌方面	茶内駅	1
	釧路駅	6	釧路駅		3
	東釧路駅	2	東釧路駅		2
	厚岸駅	3	厚岸駅		3
	厚床駅	2	厚床駅		1
	根室駅	2	合計		10
	不明	1			
合計		17			

全体では釧路駅を乗降する利用者が多く、主な利用目的は通院・通学である。また、根室駅・札幌方面利用の主な利用目的は、観光・業務・買い物などとなっている。

#### 浜中駅利用

乗車	降車	乗降者数	乗車	降車	乗降者数
浜中駅	札幌方面	1	札幌方面	浜中駅	1
	釧路駅	3	釧路駅		1
	厚岸駅	1	東釧路駅		1
	根室駅	1	厚岸駅		1
合計		6	合計		4

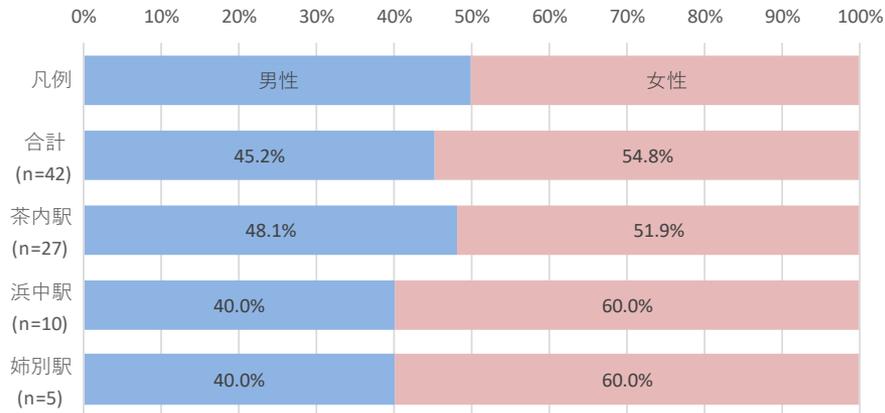
#### 姉別駅利用

乗車	降車	乗降者数	乗車	降車	乗降者数
姉別駅	釧路駅	1	釧路駅	姉別駅	2
	厚岸駅	1	厚岸駅		1
合計		2	合計		3

# 2. 全体概要

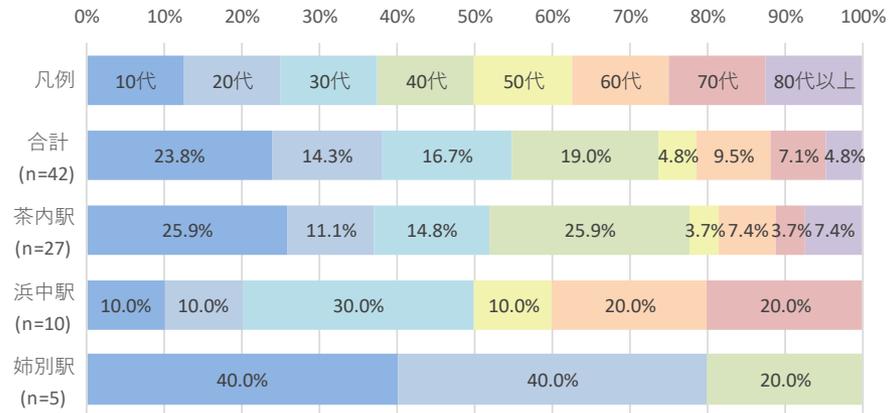
## 2-1. JR北海道根室本線花咲線

### (2) 性別



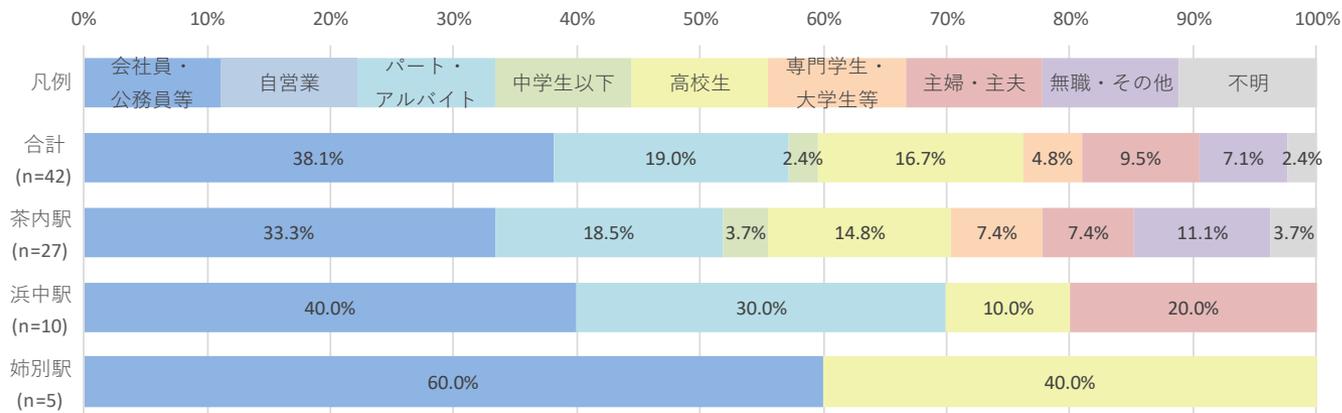
3駅で乗降者数の最も多い茶内駅では女性が5割、少ない浜中駅・姉別駅では女性が6割である。

### (3) 年齢



全体では10代が約2割と最も多く、40代、30代、20代の順に多い。

### (4) 職業

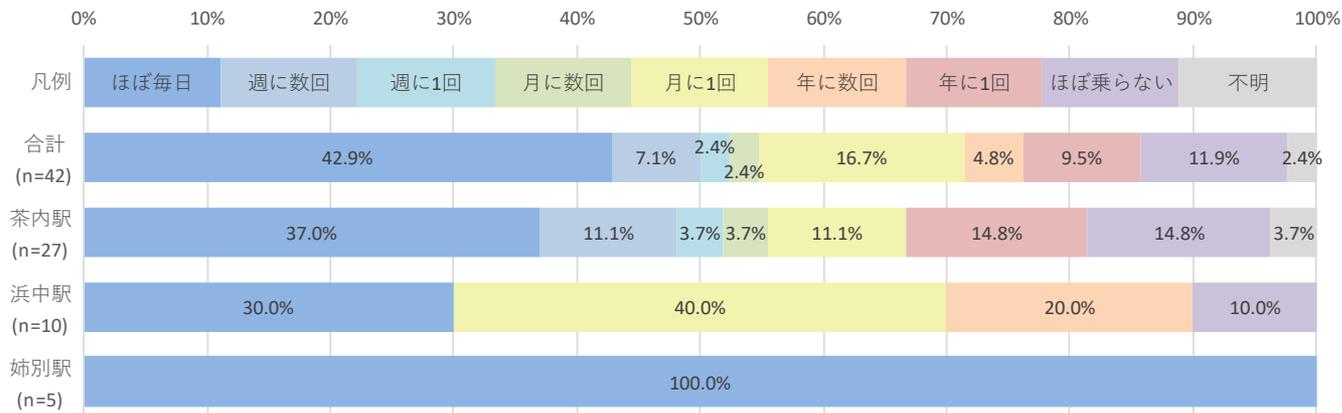


全体では会社員が約4割と最も多く、パート・アルバイト、高校生の順に多い。

# 2. 全体概要

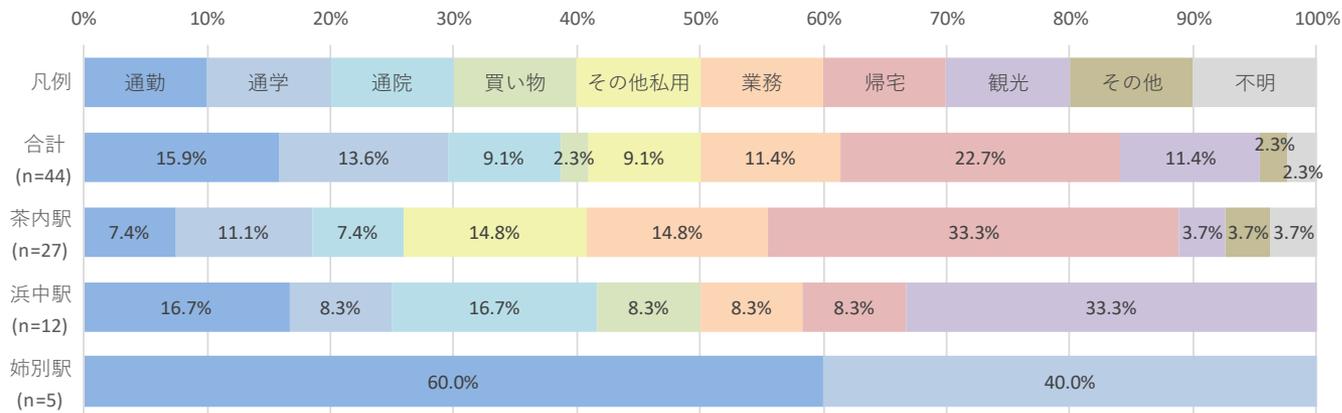
## 2-1. JR北海道根室本線花咲線

### (5) 利用頻度



全体ではほぼ毎日が約4割と最も多く、月に1回、ほぼ乗らない、年に1回の順に多い。

### (6) 利用目的



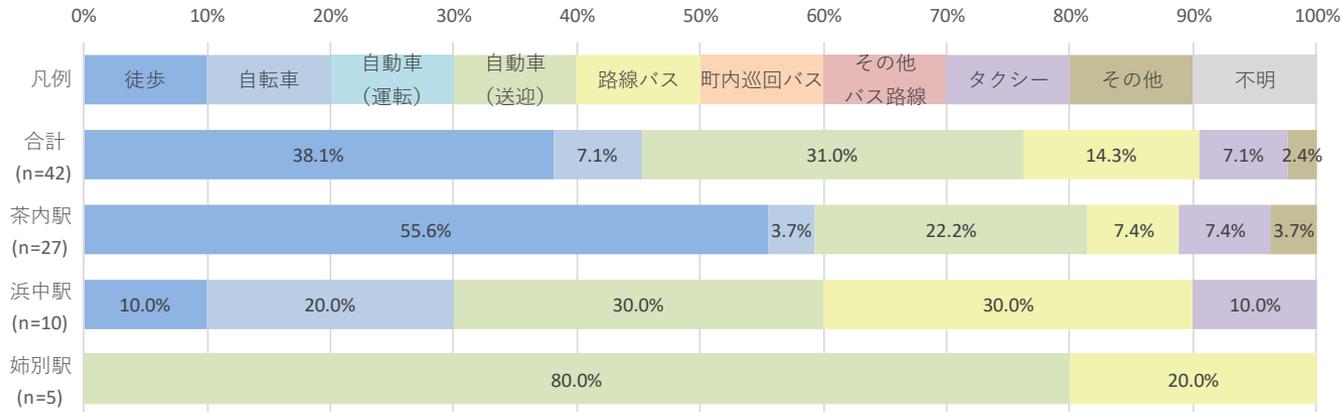
全体では帰宅の他に、通勤、通学、業務、観光の順に多い。  
茶内駅、浜中駅は観光目的の利用者があり、浜中駅においては3割（12人の内4人）が観光での利用である。姉別駅は通勤、通学目的の利用のみである。

# 2. 全体概要

## 2-1. JR北海道根室本線花咲線

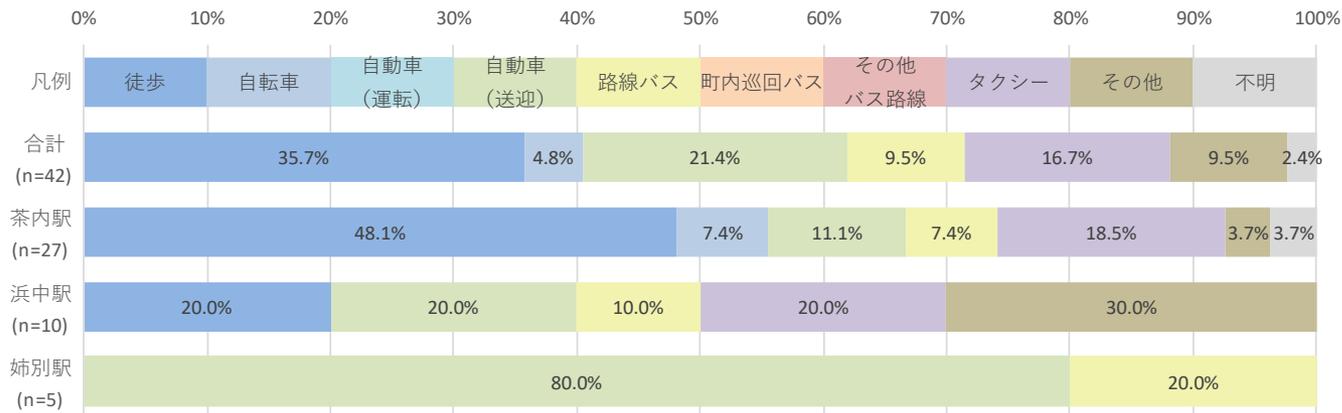
### (7) 乗り継ぎ手段

#### 乗車前



全体では徒歩が約4割、自動車による送迎が約3割と多くなっている。  
茶内駅は5割以上が徒歩であるのに対し、姉別駅は自動車による送迎か路線バスの利用のみである。

#### 降車後



全体では徒歩が約4割、自動車による送迎が約2割と多くなっている。  
茶内駅は約5割が徒歩であるのに対し、姉別駅は自動車による送迎か路線バスの利用のみである。

# 2. 全体概要

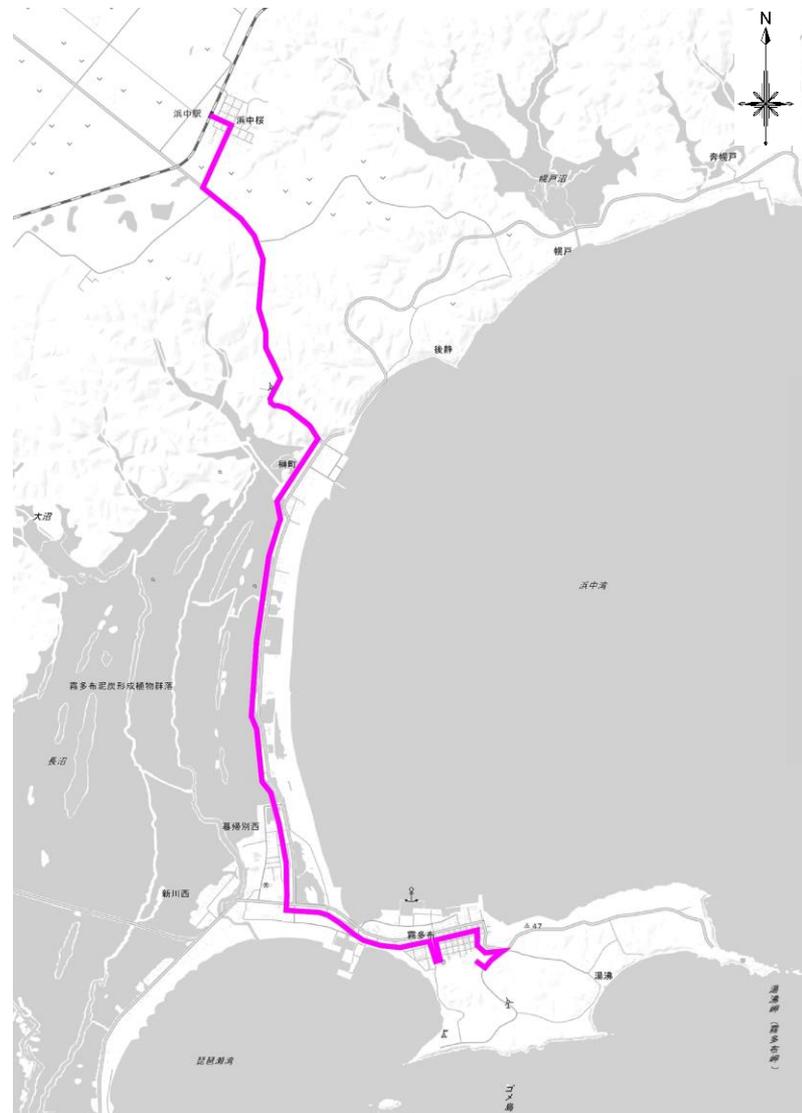
## 2-2. くしろバス（浜中線） -述べ利用者数：4人

便数	: 7便
路線長	: 12.8km
所要時間	: 17分
始発	: 6:10（霧多布温泉ゆうゆ発）
終発	: 14:55（浜中駅発）
運行区間	: 浜中駅～霧多布温泉ゆうゆ
1便あたり利用者数	: 0.57人/便

### (1) 利用者数

霧多布温泉ゆうゆ発 浜中駅行		浜中駅発 霧多布温泉ゆうゆ行	
時刻	利用者数	時刻	利用者数
06:10	0		
08:50	0		
		09:45	0
11:30	0		
		12:30	1
14:00	3		
		14:55	0
合計	3	合計	1

全7便運行中、  
利用者0人の  
便が5便



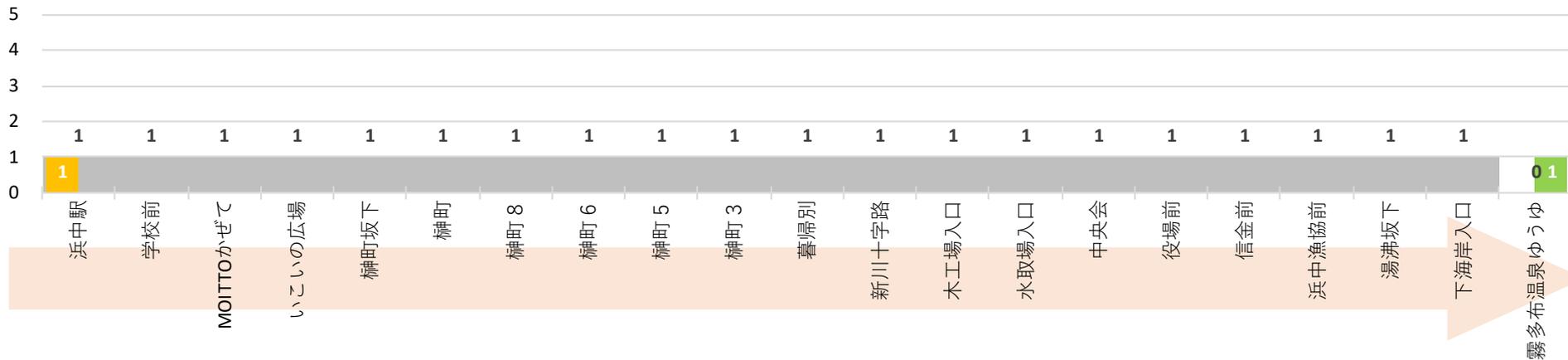
# 2. 全体概要

## 2-2. くしろバス（浜中線）

### (1) 利用者数（乗車人数及び車内人数）

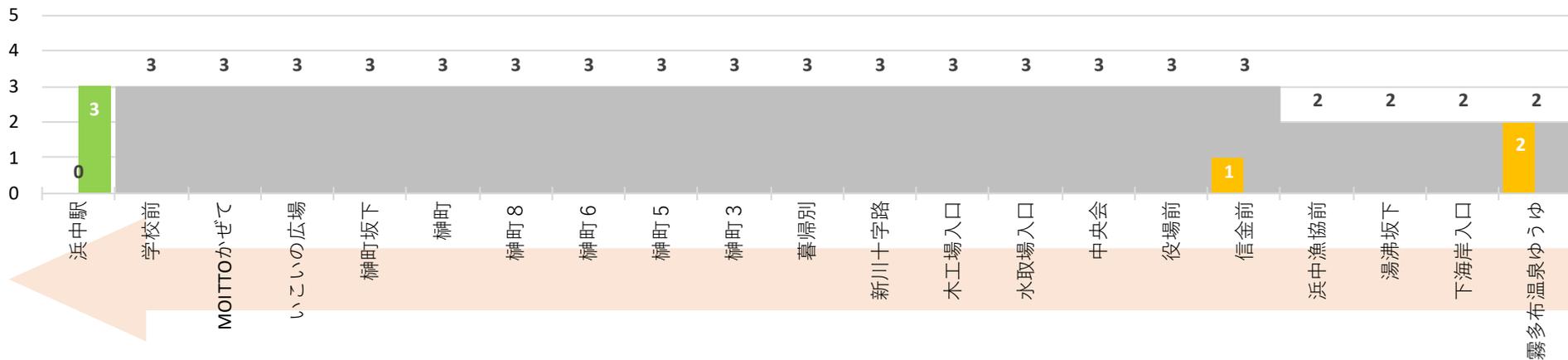
#### 往路

■ 車内 ■ 乗車 ■ 降車



#### 復路

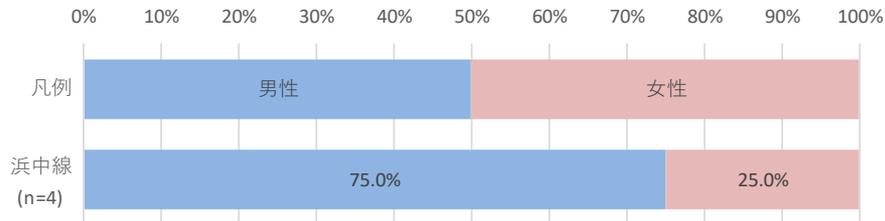
■ 車内 ■ 乗車 ■ 降車



# 2. 全体概要

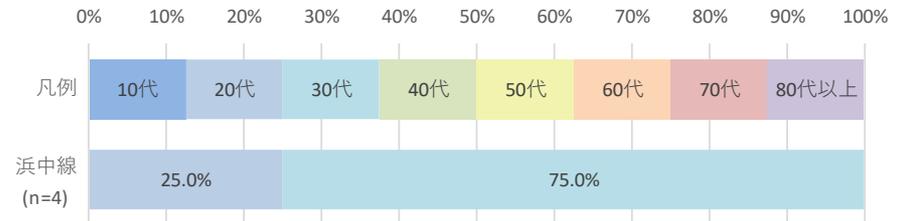
## 2-2. くしろバス（浜中線）

### (2) 性別



男性が3人、女性が1人である。

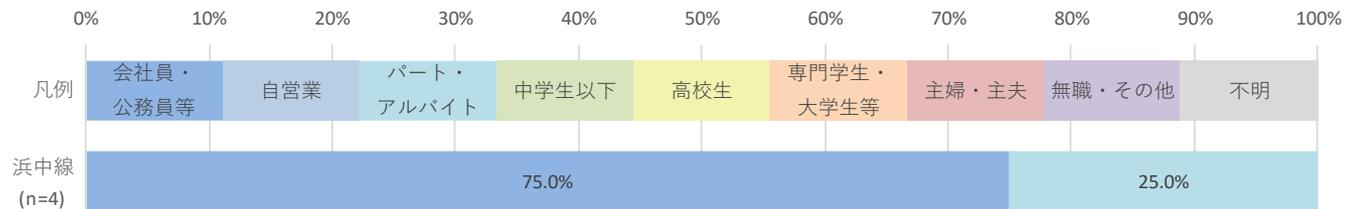
### (3) 年齢



30代が3人、20代が1人である。

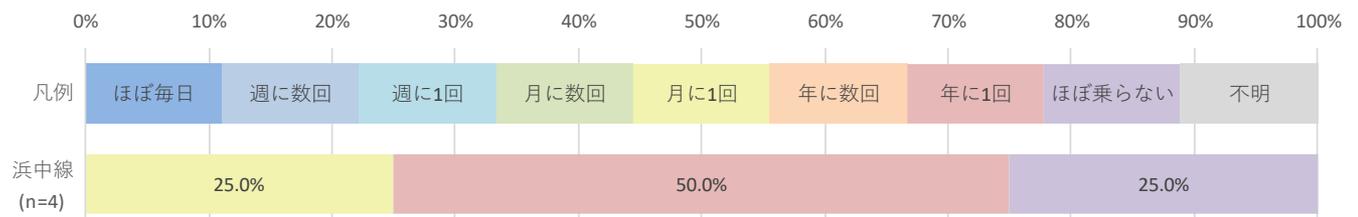
### (4) 職業

会社員・公務員等が3人、パート・アルバイトが1人である。



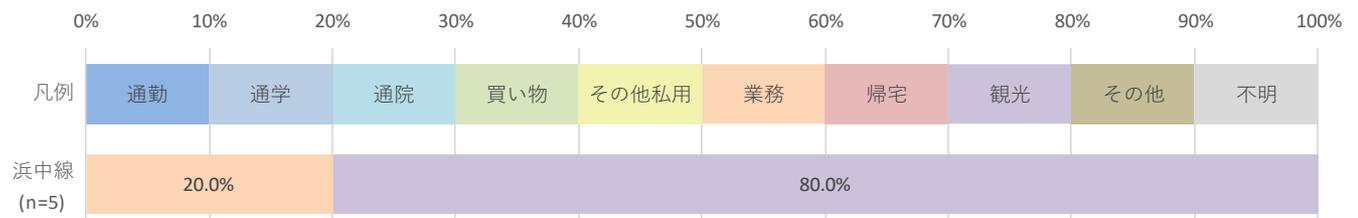
### (5) 利用頻度

月に1回、ほぼ乗らないが1人ずつ、年に1回が2人である。



### (6) 利用目的

観光が4人、業務が1人である。  
(業務と観光二つの目的の方がいるため上記までと延べ人数が異なる)

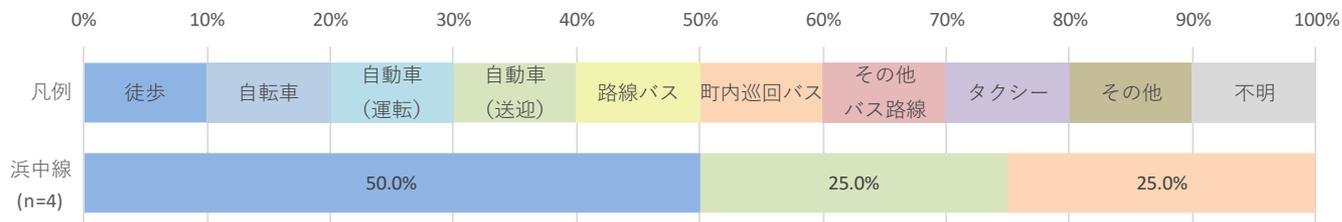


# 2. 全体概要

## 2-2. くしろバス（浜中線）

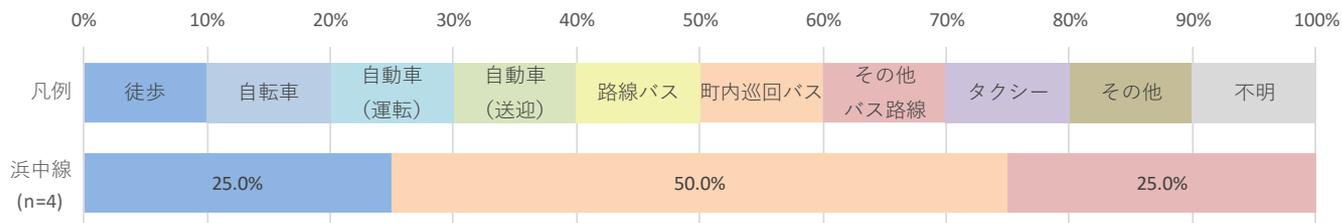
### (7) 乗り継ぎ手段

#### 乗車前



徒歩が2人、自動車の送迎、町内巡回バスが1人ずつである。

#### 降車後



町内巡回バスが2人、徒歩、その他バス路線が1人ずつである。

## 2. 全体概要

### 2-3. 町内巡回バス -述べ利用者数：30人

#### (1) 利用者数

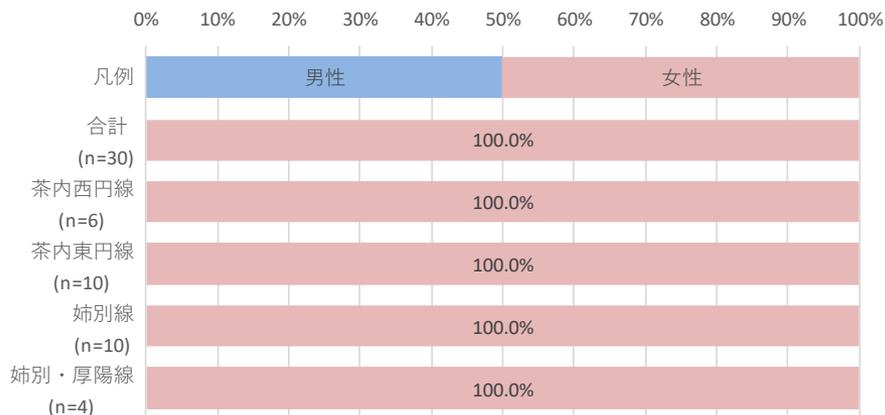
路線	方面	時刻	利用者数
茶内西円線	茶内支所発 霧多布温泉ゆうゆ行	09:00	3
	霧多布温泉ゆうゆ発 茶内支所行	14:30	3
茶内東円線	茶内支所発 霧多布温泉ゆうゆ行	09:00	5
	霧多布温泉ゆうゆ発 茶内支所行	14:30	5
姉別線	浜中駅発 霧多布温泉ゆうゆ行	09:10	5
	霧多布温泉ゆうゆ発 浜中駅行	14:00	5
姉別・厚陽線	浜中駅発 霧多布温泉ゆうゆ行	09:10	2
	霧多布温泉ゆうゆ発 浜中駅行	14:00	2
合計		-	30

1 便当たりの最大乗車人数は、5名

# 2. 全体概要

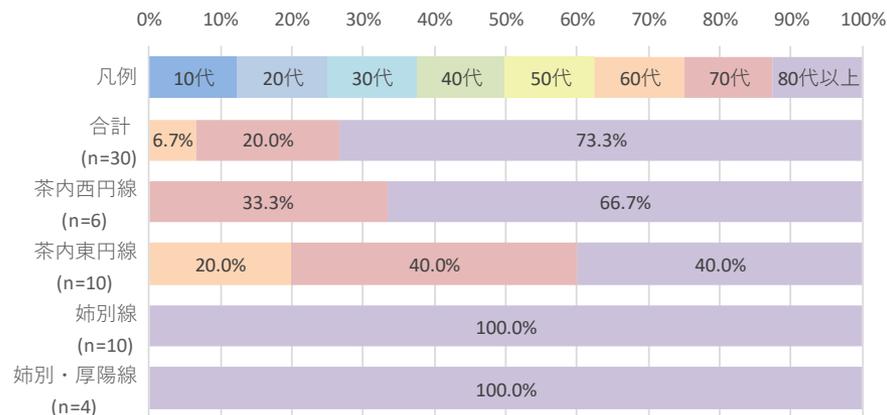
## 2-3. 町内巡回バス

### (2) 性別



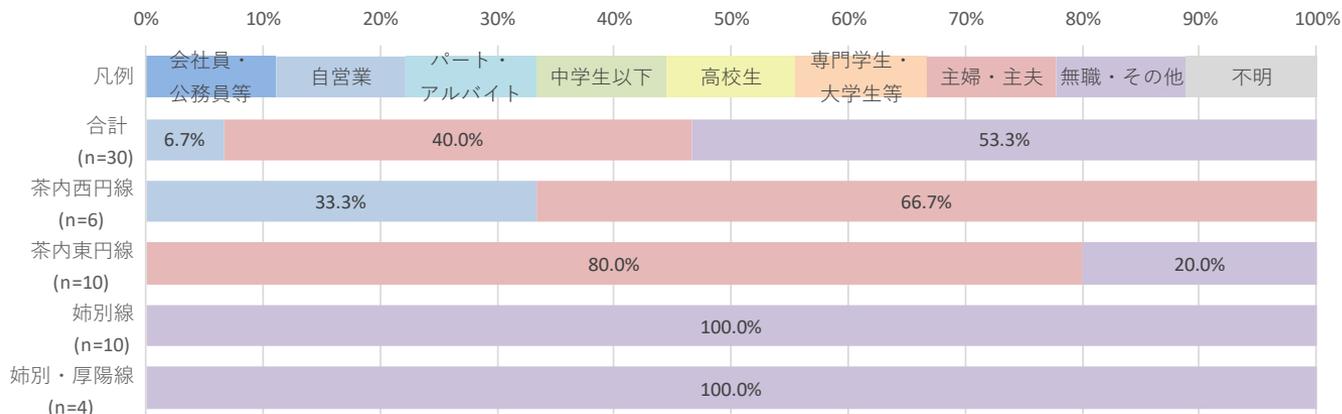
利用者は女性のみである。

### (3) 年齢



全体では約7割が80代以上、70代が約2割、60代が1割に満たない。

### (4) 職業

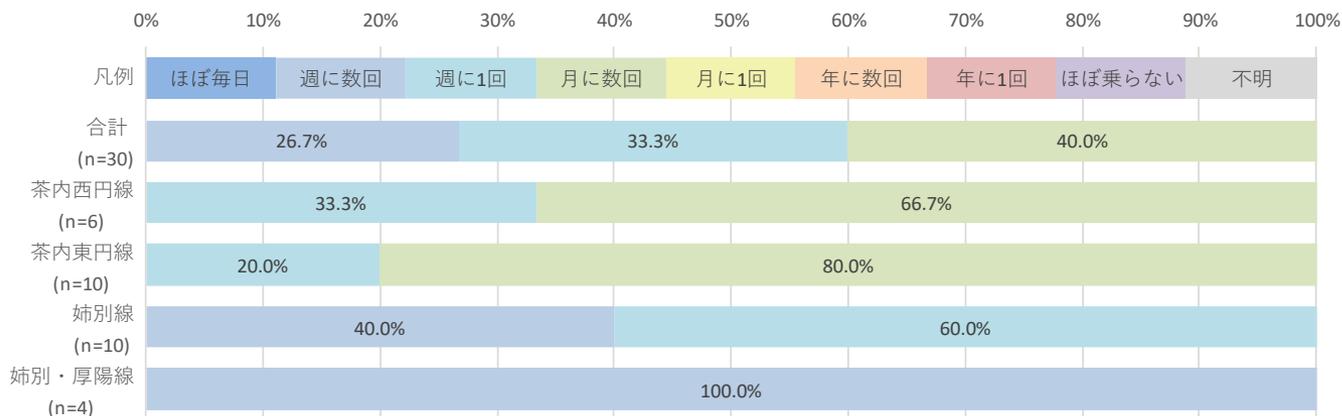


全体では約5割が無職・その他、約4割が主婦、自営業が1割に満たない。

# 2. 全体概要

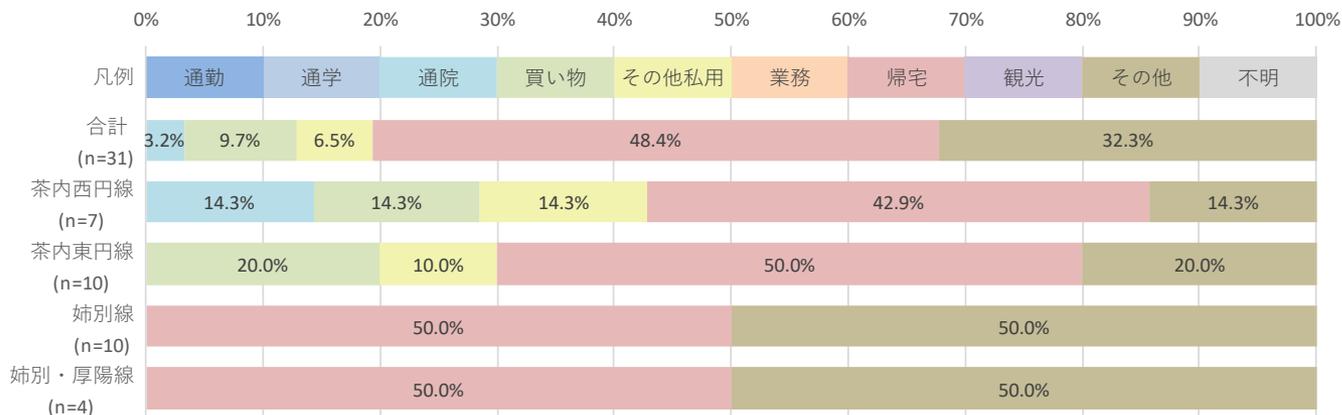
## 2-3. 町内巡回バス

### (5) 利用頻度



全体では週に数回と週に1回を合わせて約6割、月に数回が約4割である。

### (6) 利用目的



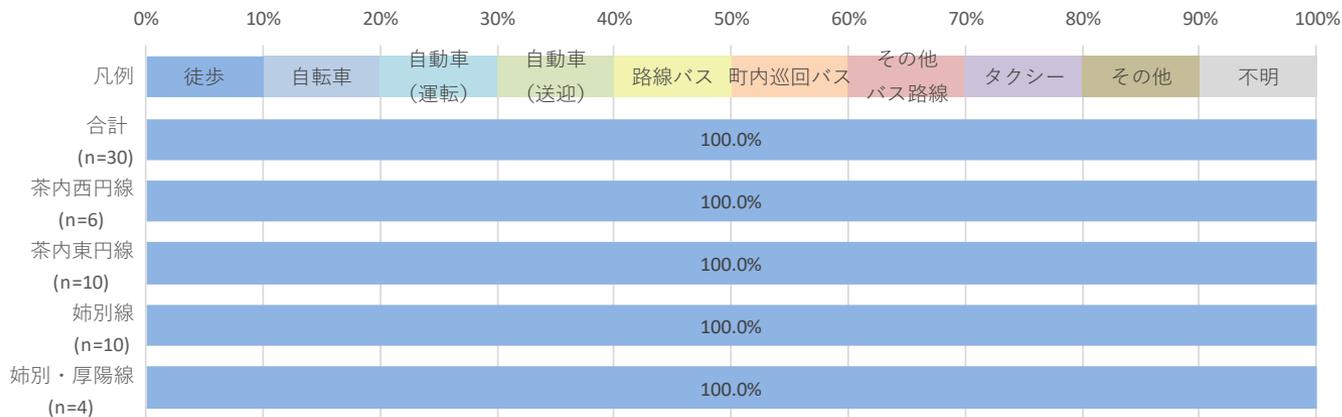
全体では帰宅の他に、その他、買い物、その他私用、通院の順が多い。

# 2. 全体概要

## 2-3. 町内巡回バス

### (7) 乗り継ぎ手段

#### 乗車前



全て徒歩である。

#### 降車後



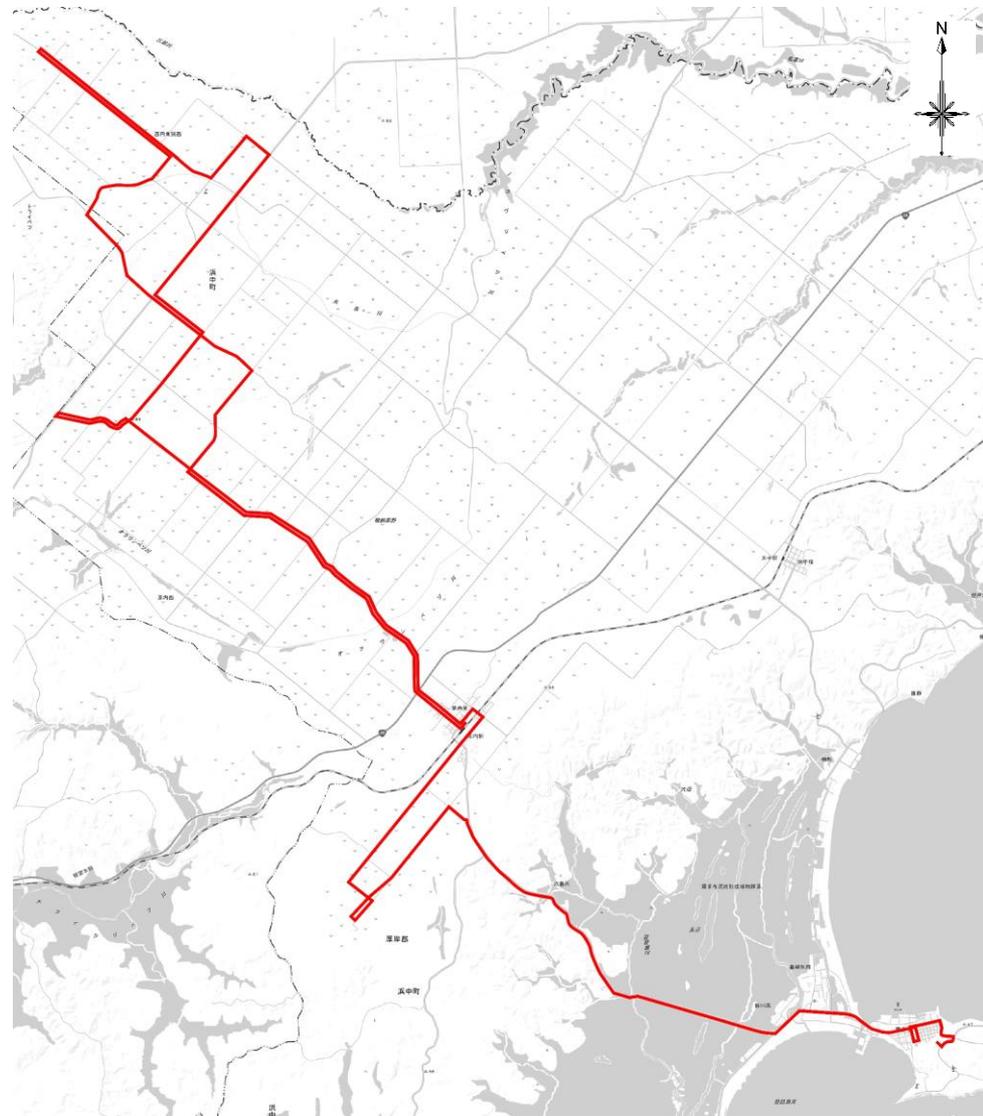
全て徒歩である。

# 3. バス路線カルテ

## 3-1. 茶内西円線 -述べ利用者数：6人

### (1) 概要

運行日	： 火曜日
便数	： 2便
路線長	： 62.0km
所要時間	： 1時間30分
始発	： 9:00（茶内支所発）
終発	： 14:30（霧多布温泉ゆうゆ発）
運行区間	： 茶内支所前～霧多布温泉ゆうゆ
1便あたり利用者数	： 3.0人/便

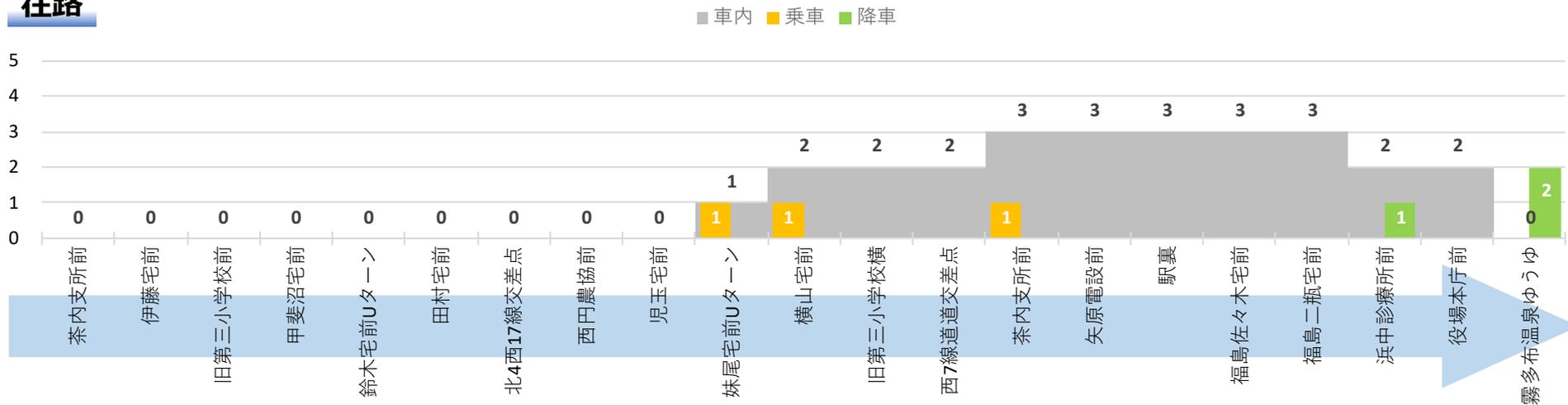


# 3. バス路線カルテ

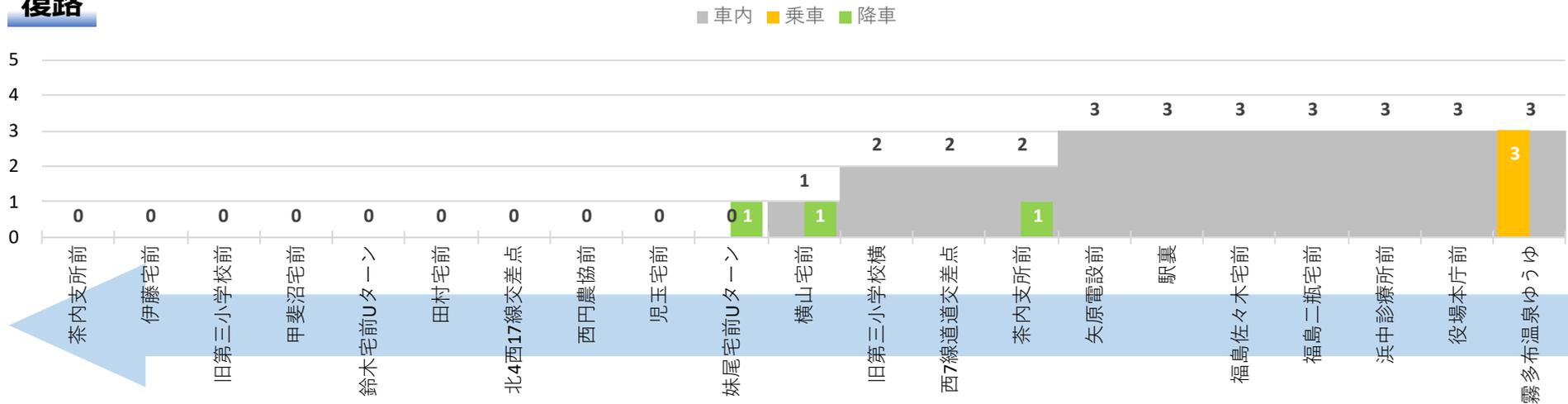
## 3-1. 茶内西円線

### (2) 乗車人数及び車内人数

#### 往路



#### 復路

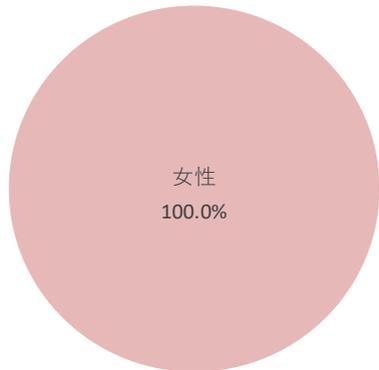


# 3. バス路線カルテ

## 3-1. 茶内西円線

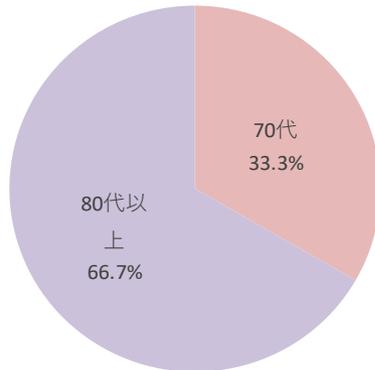
### (3) 属性、目的など

性別 (n=6)



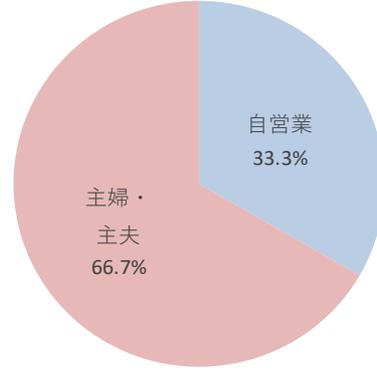
女性が10割であった。

年代 (n=6)



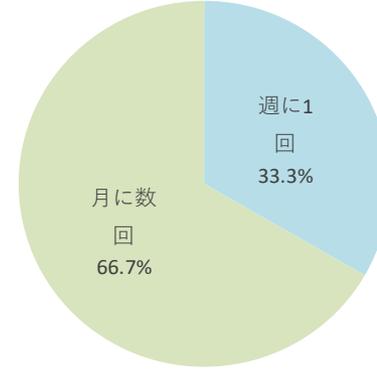
80代以上が6割を超え、70代が3割であった。

職業 (n=6)



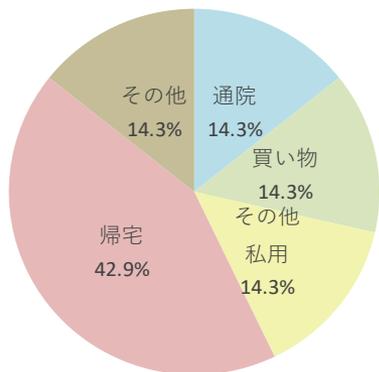
主婦が6割を超え、自営業が3割であった。

利用頻度 (n=6)



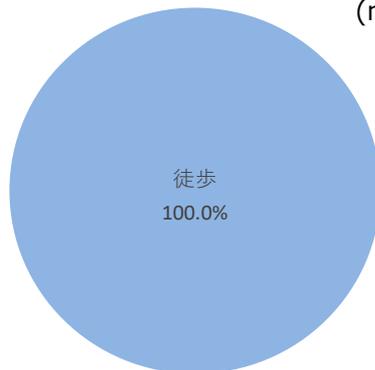
月に数回が6割を超え、週に1回が3割であった。

利用目的 (n=7)



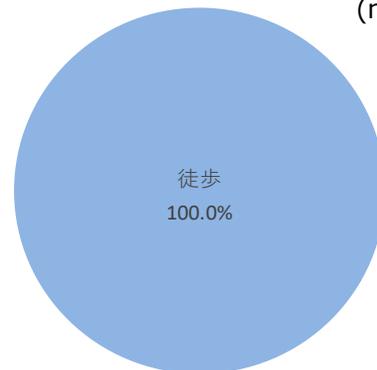
その他も含め多様な目的。

乗り継ぎ手段 (乗車前) (n=6)



徒歩が10割であった。

乗り継ぎ手段 (降車後) (n=6)



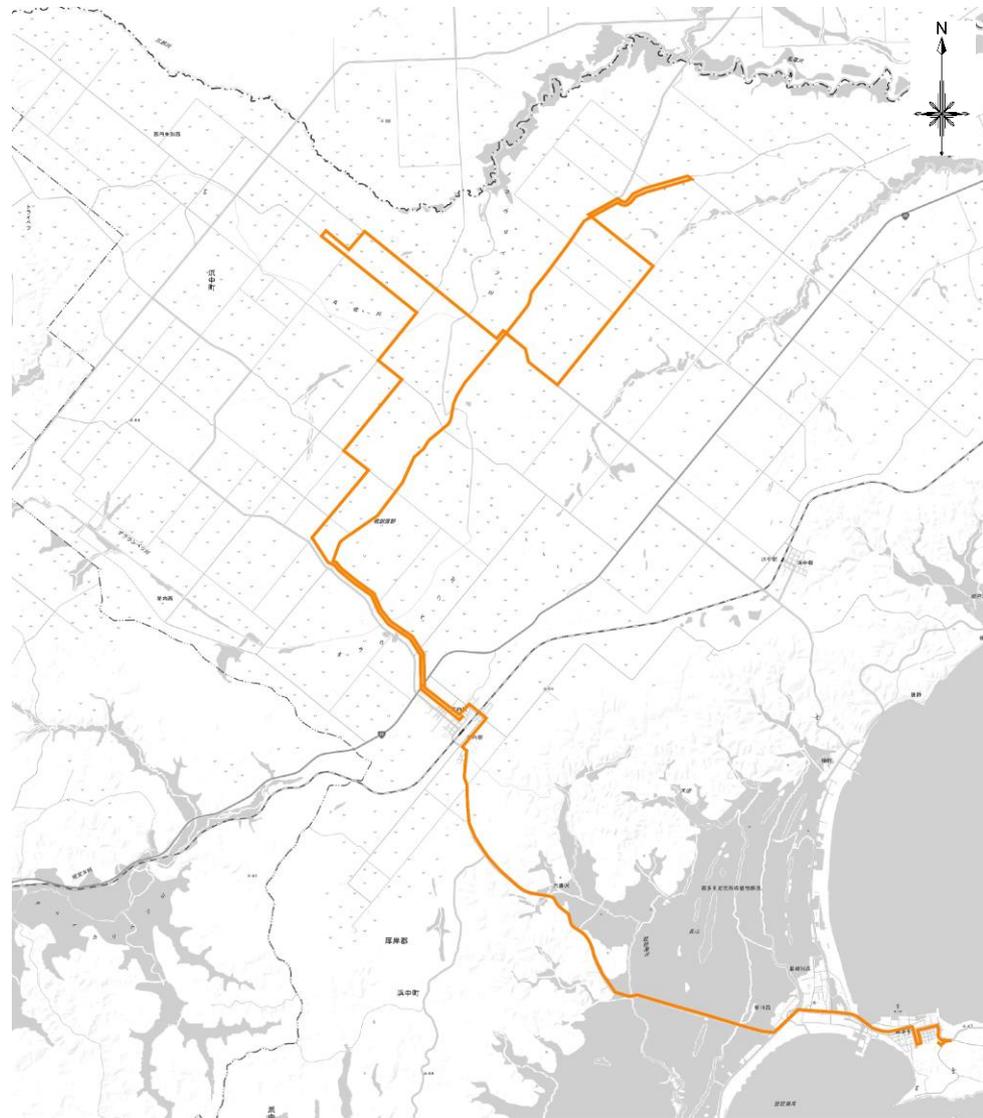
徒歩が10割であった。

# 3. バス路線カルテ

## 3-2. 茶内東円線 -述べ利用者数：10人

### (1) 概要

運行日	： 木曜日
便数	： 2便
路線長	： 52.2km
所要時間	： 1時間20分
始発	： 9:00（茶内支所発）
終発	： 14:30（霧多布温泉ゆうゆ発）
運行区間	： 茶内支所前～霧多布温泉ゆうゆ
1便あたり利用者数	： 5.0人/便



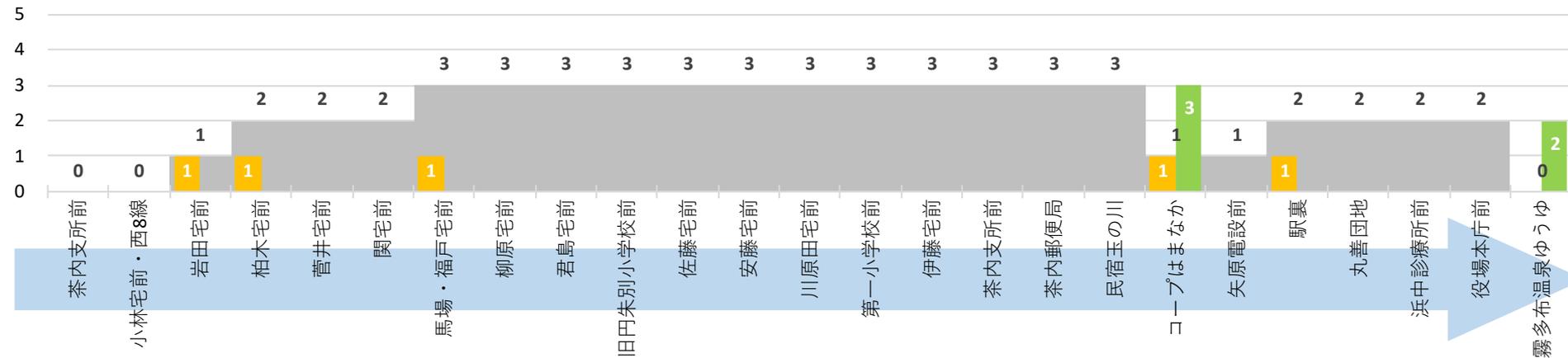
# 3. バス路線カルテ

## 3-2. 茶内東円線

### (2) 乗車人数及び車内人数

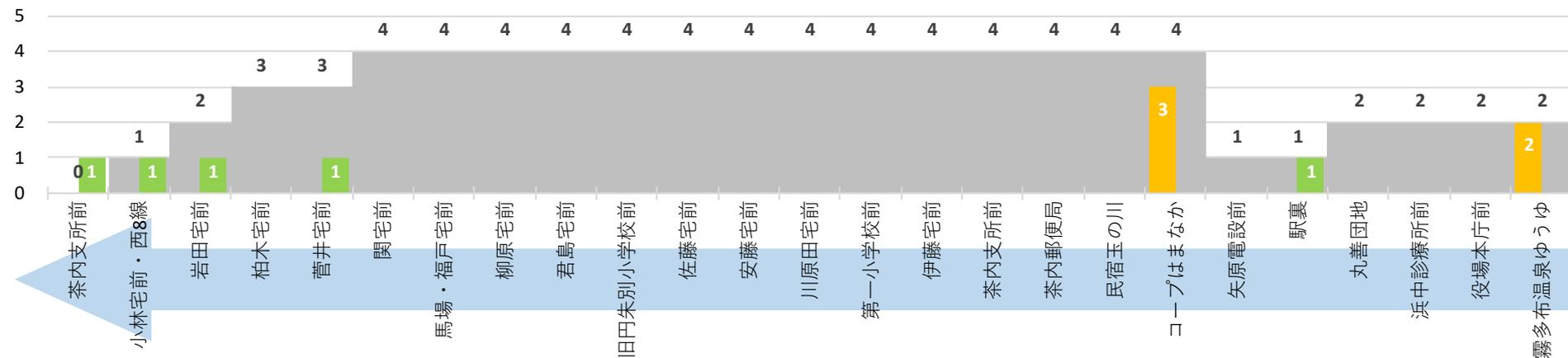
#### 往路

■ 車内 ■ 乗車 ■ 降車



#### 復路

■ 車内 ■ 乗車 ■ 降車

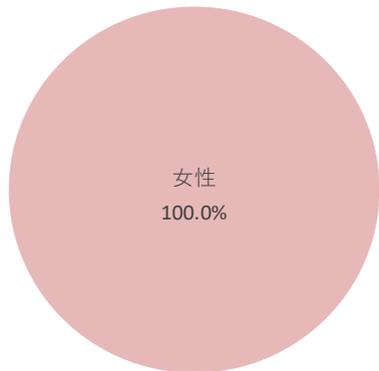


# 3. バス路線カルテ

## 3-2. 茶内東円線

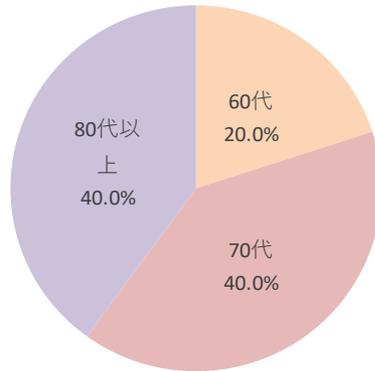
### (3) 属性、目的など

性別 n=10



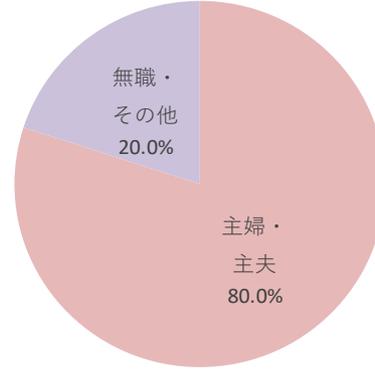
女性が10割であった。

年代 n=10



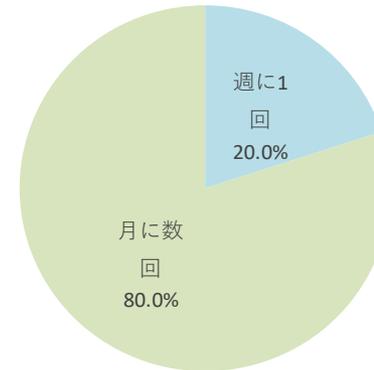
80代以上、70代がそれぞれ4割であった。

職業 n=10



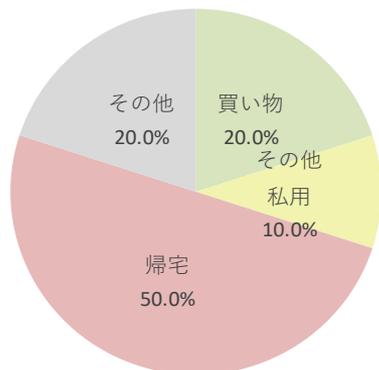
主婦が8割、無職・その他が2割であった。

利用頻度 n=10



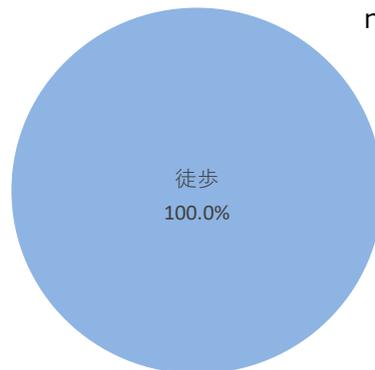
月に数回が8割、週に1回が2割であった。

利用目的 n=10



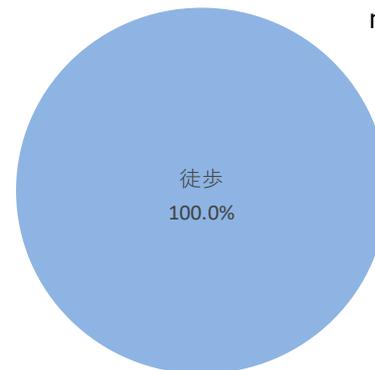
買い物、その他がそれぞれ2割であった。

乗り継ぎ手段 (乗車前) n=10



徒歩が10割であった。

乗り継ぎ手段 (降車後) n=10



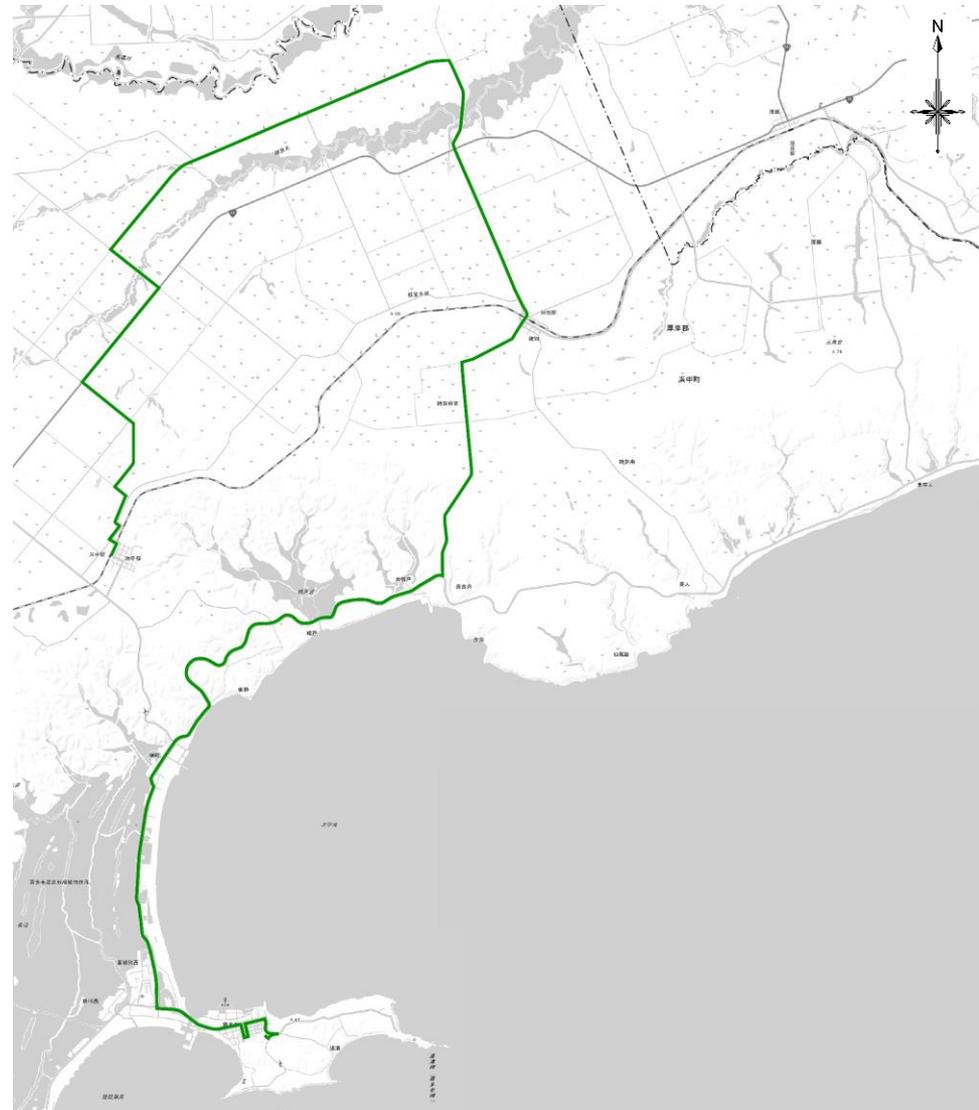
徒歩が10割であった。

# 3. バス路線カルテ

## 3-3. 姉別線 -述べ利用者数：10人

### (1) 概要

運行日	： 水曜日
便数	： 2便
路線長	： 41.4km
所要時間	： 1時間00分
始発	： 9:10（浜中駅発）
終発	： 14:00（霧多布温泉ゆうゆ発）
運行区間	： 浜中駅～霧多布温泉ゆうゆ
1便あたり利用者数	： 5.0人/便



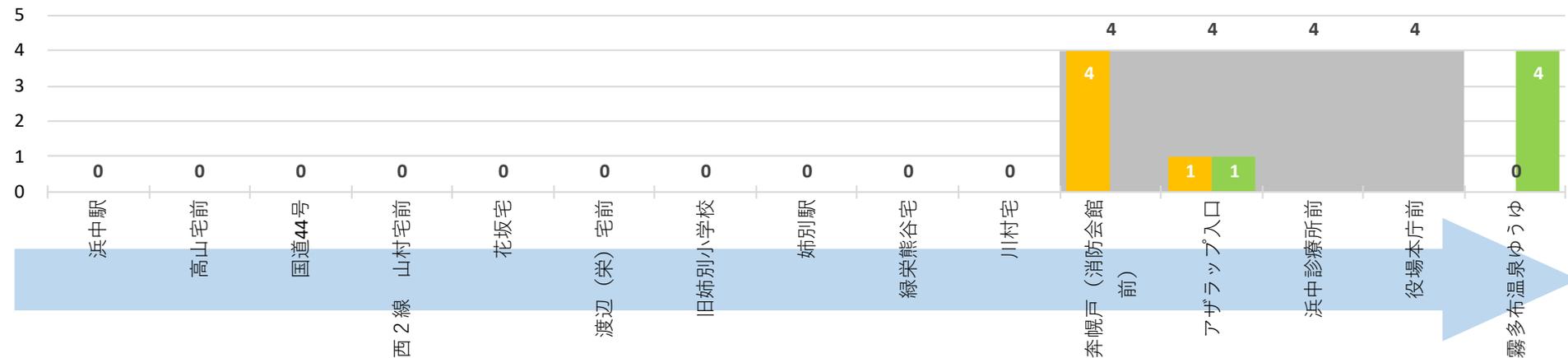
# 3. バス路線カルテ

## 3-3. 姉別線

### (2) 乗車人数及び車内人数

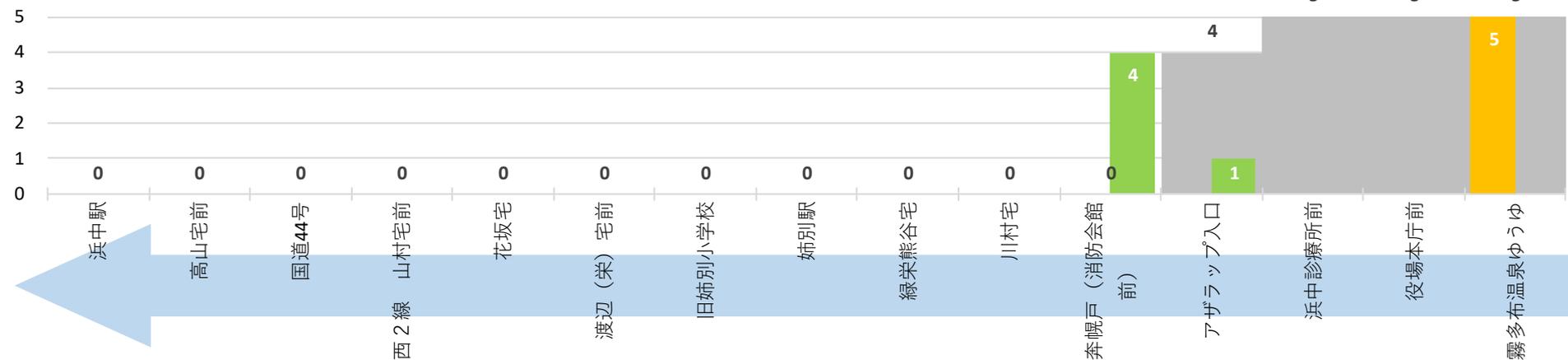
#### 往路

■ 車内 ■ 乗車 ■ 降車



#### 復路

■ 車内 ■ 乗車 ■ 降車

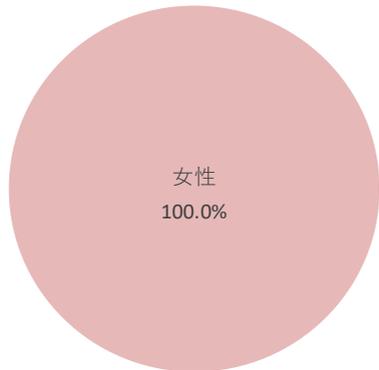


# 3. バス路線カルテ

## 3-3. 姉別線

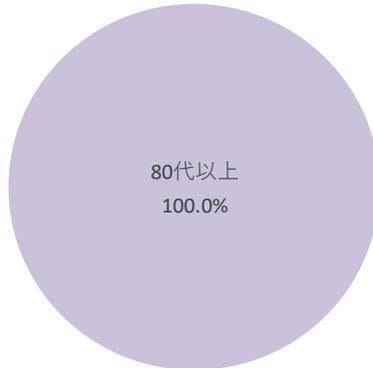
### (3) 属性、目的など

**性別** n=10



女性が10割であった。

**年代** n=10



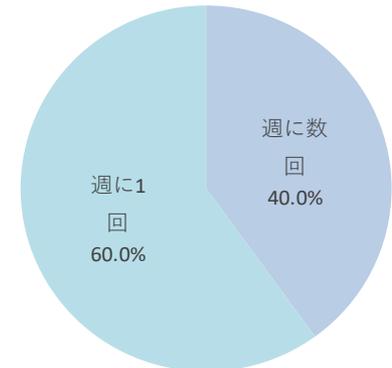
80代以上が10割であった。

**職業** n=10



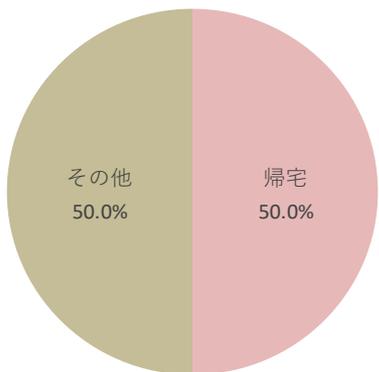
無職・その他が10割であった。

**利用頻度** n=10



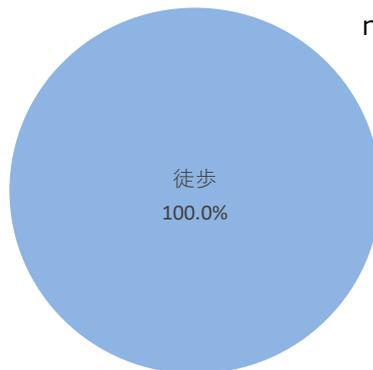
週に1回が6割、週に数回が4割であった。

**利用目的** n=10



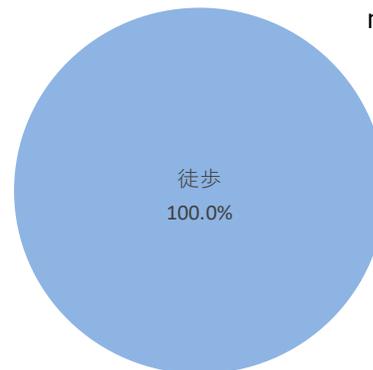
その他が5割であった。

**乗り継ぎ手段 (乗車前)** n=10



徒歩が10割であった。

**乗り継ぎ手段 (降車後)** n=10



徒歩が10割であった。

# 3. バス路線カルテ

## 3-4. 姉別・厚陽線 -述べ利用者数：4人

### (1) 概要

運行日	： 金曜日
便数	： 2便
路線長	： 62.1km
所要時間	： 1時間10分
始発	： 9:10（浜中駅発）
終発	： 14:00（霧多布温泉ゆうゆ発）
運行区間	： 浜中駅～霧多布温泉ゆうゆ
1便あたり利用者数	： 2.0人/便

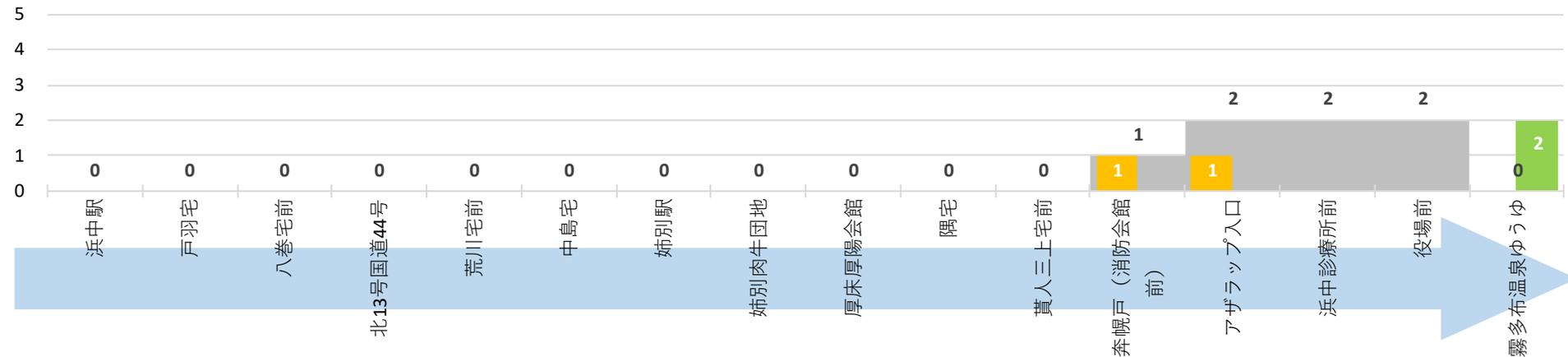


### 3-4. 姉別・厚陽線

#### (2) 乗車人数及び車内人数

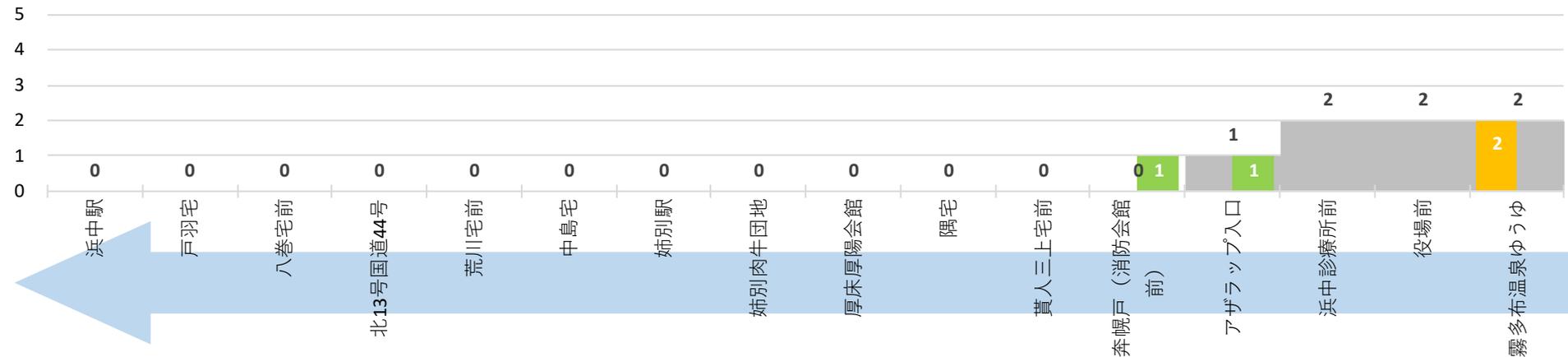
##### 往路

■ 車内 ■ 乗車 ■ 降車



##### 復路

■ 車内 ■ 乗車 ■ 降車

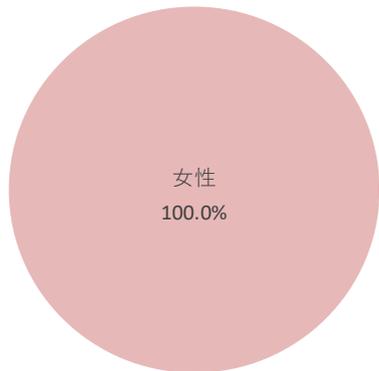


# 3. バス路線カルテ

## 3-4. 姉別・厚陽線

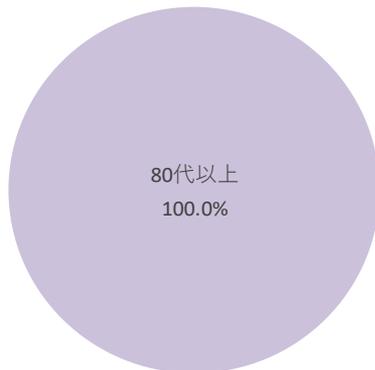
### (3) 属性、目的など

**性別** n=4



女性が10割であった。

**年代** n=4



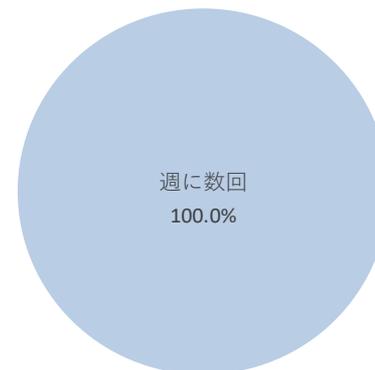
80代以上が10割であった。

**職業** n=4



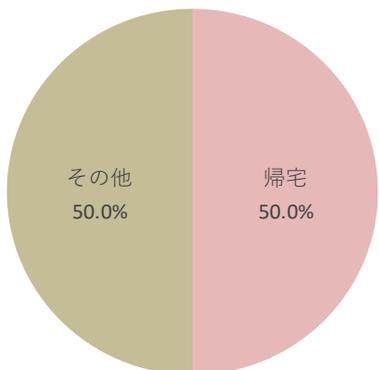
無職・その他が10割であった。

**利用頻度** n=4



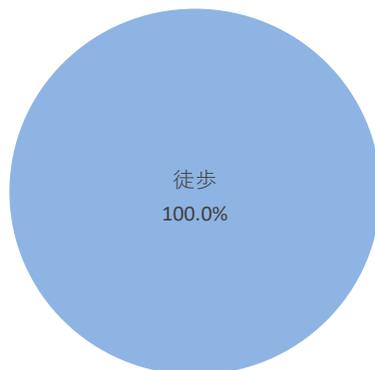
週に数回が10割であった。

**利用目的** n=4



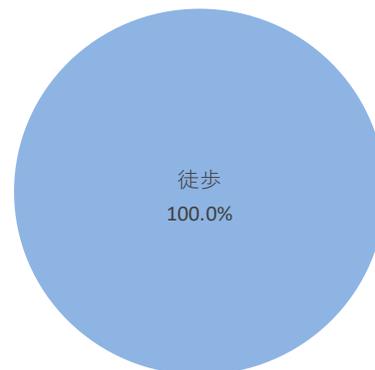
その他が5割であった。

**乗り継ぎ手段 (乗車前)** n=4



徒歩が10割であった。

**乗り継ぎ手段 (降車後)** n=4



徒歩が10割であった。